

令和3年度 武蔵野市地域自立支援協議会全体会（第2回）

グループディスカッション ワークシート

グループ名： A

【テーマ】「武蔵野市の地域課題の解決に向けた協働の在り方について
～新たな部会での活動を通して～」

テーマ1-1：課題の共有

「各部会の活動報告を受けて」

- ・新たな部会は始まったばかり。今後の展開や活動がより重要になってくるのではないかな。
- ・今までやってきた資源（これまでの部会活動）が活かされていないように感じる。継承も必要ではないかな。
- ・“つながり”というキーワードがどの部会からも出ていたように思う。コロナでリアルな交流が途切れてしまうことがあるが、地域の体制づくりが重要であることを再認識した。
- ・各部会の活動内容が知れて、よい機会となった。

テーマ1-2：課題の共有

「武蔵野市の地域課題とはなんだろう」

- ・親なき後の問題。また、その両親への支援も大事ではないかな。
- ・65歳から介護保険へ移行する。年齢で制度が変わる。
- ・“障害者差別”といっても色々な形があるように思う。（家の賃貸借契約を結べないなど）
民間事業所への働きかけも必要だと感じる。障害理解をより浸透させるために、福祉教育やピア活動が効果的ではないかな。
- ・緊急対応といっても様々な“緊急”があり、判断が難しいこともある。

テーマ2：目標設定

「テーマ1-2で共有した地域課題の解決に向けて、新たな部会での活動を通して活動できること・協力できることはなんだろう」

- ・他の部会から障害当事者部会に参加して、生の声を聴いてほしい。
（市の職員がいないため、なんでも言えてしまうこともあるが…）
- ・今後、各部会で取り組まれる調査等の結果共有
- ・知らないこと=差別に繋がることもあるので、お互いを知ることから始めることも重要
- ・一回限りではなく、何度も当事者の声を聴く姿勢、継続した関係性の構築が重要